北海道環境保全技術協会主催

H17 年度第 2 回環境保全技術セミナー
「重金属汚染土の不溶化技術特集」

日時：平成 17 年 9 月 22 日（木）、午後 2 時～5 時 30 分
場所：かでる２．７（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）
　　セミナー会場：6F・学習室 AB
　　情報交換窓口：3F・演習室
参加費：無料

＜プログラム＞
１．開会挨拶
（14：00～14：05）
２．「ナチュラル・アテニュエーションによる重金属汚染土壌・水質の浄化」
（14：05～14：55）
[概要]：金沢大学 TLO 認定企業である㈱ソフィアの重金属汚染浄化技術は、シュベルトマナイトという鉱物を中心に、自然の浄化作用（ナチュラル・アテニュエーション）を利用した重金属不溶化システムです。広範な pH 領域に対応可能で、ヒ素・フッ素・ホウ素・鉛等、ほとんどの重金属汚染浄化に実績があります。このシステムの理学的な背景を紹介するとともに、北海道の地質的特性による自然由来の重金属汚染、特にトンネルずりについて、長期的に安全で低コストな対策工法について具体的に提案いたします。
[発表者]：　株式会社ソフィア（道環協会員）　営業部主任　山本　中一
３．「アムスエコプラントシステムによる汚染土壌の修復」
（15：05～15：55）
[概要]：　アムスエコプラントシステムは土壌修復剤「エコハーモニィ」と土壌ミキシングプラント「ランドレボリューション」で構成されています。技術の肝要となるエコハーモニィは酸化マグネシウムを主成分とし、その他の安全な天然無機系鉱物と共に調合しています。コハーモニィは、あらゆる汚染土壌を容易に固化・無害化・不溶化することを可能にした土壌修復剤でです。ランドレボリューションはそのエコハーモニィの効力を十分発揮するために設計・開発したプラントです。
[発表者]：　有限会社アムスエンジニアリング（道環協会員）　企画開発室長 佐藤　敦政
４．「道内産天然資源を用いた重金属汚染土の不溶化」
（16：05～15：55）
[概要]：　自然界には重金属を吸着する天然資源があることが知られており、代表的なものとして，ゼオライト（沸石），ローム，粘性土，火山灰などが挙げられる。しかし，これらの資源は限定的な用途にしか利用されていない，或いは全く利用されていない場合もある。このような天然資源の機能を利用して不溶化を行うことは，環境負荷がほとんど無いことや，地元の資源を活用できるなどの利点がある。ここでは，道内産のゼオライト，ローム・火山灰を用いた重金属汚染土の不溶化処理について紹介する。
[発表者]：　株式会社レアックス（道環協会員）　テクニカルマネージャー・和田哲
５．閉会挨拶

参加総数 65 名（会員：16 名、非会員：19 名、官庁関係：25 名、その他：5 名）